

# ひろげる(伸張・伸長) ～わくわく登校 納得の下校～

## ◎外部からの評価で本校は……

7月2日(水)に、玉名教育事務所から、8日(火)には、荒尾市教育委員会からの学校訪問が行われ、登下校の様子や授業、学校環境整備などの参観がありました。

本校の素晴らしい点として、登校時や廊下での挨拶、靴やトイレのスリッパの並び、落ち着いた授業態度、教室掲示、学級園の花や野菜等の栽培、教師の授業改革、ICT 機器の効果的な活用を行っているなどを挙げていただきました。特に学習は、人権教育を基盤とし、学ばせたいことが荒尾市で行っている【あらおベーシック】を、1年生から6年生まで全てで推し進められている点を評価されました。子供たちや先生方の努力の成果とともに、ご家庭での指導も一役買っていると確信しました。学校長として感謝申し上げると共に外部から評価していただいたことを大変嬉しく思っております。授業では、確かに4月からの約3ヶ月半の間に子供たち主体の学習ができつつあると感じています。以下にいくつかの学習の変化を紹介します。

一つ目は、『教室環境(空間)』の変化です。学習の最初からコの字の形態で行っていたり、時にはペアや3人で行ったり、と、子供たちが聴き合いやコミュニケーションを取りやすい環境にどの学年も工夫が見られるようになったことをあげます。

二つ目は、提示する教材、教具も具体的で「どうしてそうなの?(知的好奇心)」や「やってみたい(向上心)」など、学習の『動機付け』がどの教科でもなされるようになってきた変化です。

三つ目は、活動に入ったとき、子供たち一人ひとりに見通しや選択(例えば、教科書を使ってやるのか、ネットで調べたい情報を検索するのか、図書の本で探すのかなど)といった『学習をどのように進めていくのか』を子供本人に任せるようになってきた変化です。

四つ目は、学習のまとめとしての『振り返り』の質について、教師は勿論のこと、子供たち一人ひとりが今日の(これまでの)自分を丁寧に分析し見つめることができるようになってきた変化です。

今、各学年では、学年の状況に応じた目標を立てて日々の生活を送っています。

以下に各学年の10月初旬までの目標を示します。

1年	○相手が喜ぶ声かけをしよう。 ○友達の話は、だまって最後まで聞こう。 ○難しくてもあきらめずに最後まで取り組もう。	4年	○相手の気持ちを考えて行動しよう。 ○うそをつかない正直な心を育もう。 ○毎日欠かさず読書をしよう。
2年	○間違いをこわがらずに発表しよう。 ○相手の話を最後まで聴こう。 ○相手を思いやり、親切なことをたくさんしよう。 (6/13 SST 取組『しあわせのバケツ』より)	5年	○相手も自分も心も体も傷付けないようにしよう。 ○時間を見て見通しを持って行動しよう。 ○高学年としてお手本となる行動をしよう。 ○授業中、自分の考えをわかりやすく説明できるようになろう。
3年	○班で声をかけ合って協力しよう。 ○「どうして、何で、教えて」を言って聞き合おう。 ○学習のふり返りをしよう。	6年	○分からないところをたずねたり、教え合ったりして積極的に挙手をしよう。 ○忘れ物をしない努力をしよう。 ○相手の立場に立って気持ちを考えたり、周りに気を配ったりして、自分の考えを伝えよう。 ○心の時間を大切にしながらも、時計の時間に合わせた生活をしよう。 ○歯磨きをしっかりと、病気の予防をしよう。

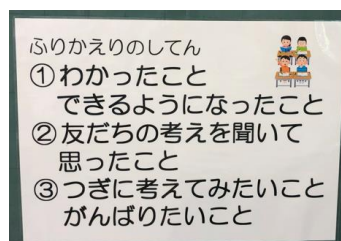
今後も学校教育目標『聴き合う関係を意識しながら自他を大切に、日々の生活や学びを豊かにする子どもの育成』の達成に向け、児童、職員、保護者一丸となって努力して行ければと思います。今後ともご協力よろしくお願いいたします。



教室環境(学習形態)の工夫



動機付け(長さを測る様子)



振り返りの視点